

事業NO.701	事業名	石綿セメント管管種変更工事	(重点管理事業)	水道部
----------	-----	---------------	----------	-----

評価対象 事業名	石綿セメント管管種変更工事			部課名	水道部工務課					
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部第3・3-(1)-	係名	工務係		内線	3436	
計画事業名	石綿セメント管管種変更工事			歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	1.水道管理費	目	2.配水費
関連計画	水道法・東京都給水条例・同条例施行規則			受託水道会計	事項	3.配水事業費				
				補助区分	国	都	市単独			

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入
震災時に市民への供給を確保するため、耐震強度の劣る石綿セメント管の管種変更を進める。

目的

概要
耐震強度の劣る石綿セメント管を、より強度の高いダクタイル鋳鉄管へと布設替える。

始期 | 昭和53 年度から | 終期 | 平成17 年度まで | 当該事務に従事する実職員数 | 2.0 人 または | 時間

16年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点
平成17年度予定路線は、最後の年でもあり、調整に時間のかかる路線も多いため事業執行が遅れないように、前年度(平成16年度)から準備を進めた。

今年度の事業・業務量(活動内容・量の指標)の説明
今年度は最終予定年度であり4,022mを計画延長とする。

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明
今年度末の残存率を0%を目標とする。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)

年度別明細	H15年度	H16年度	H17年度目標	H17年度達成
事業・業務量	実施延長 14,556.9m	実施延長 13,315m	実施延長 4,022m	実施延長 3,787m
まちづくり 指標 行政指標 協働指標	残存率 5.54%	残存率 1.27%	残存率 0%	残存率 0.07%
予算額(千円)	979,200	914,050	350,313	301,613
決算額(千円)	974,595	787,990		274,919
執行率(%)	99.5%	86.2%		91.1%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画						設計・施工期間							
結果						設計・施工期間							

当初計画変更の内容・理由等(進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載)

事業NO.701	事業名	石綿セメント管管種変更工事	(重点管理事業)	水道部
----------	-----	---------------	----------	-----

《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向	
平成17年度完了を目指して事業を進めているが、道路の拡幅及び掘削制限により事業の執行の出来ない箇所が発生する。今後、道路拡幅等の事業に合わせて布設替えの事業を実施する。(約220m)	
主管課中間評価	
コスト面	18年度は本年度よりコストが、減少する 維持 増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 平成17年度にて事業終了
成果面	18年度は本年度より成果が、増加 維持 減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 平成17年度にて事業終了
今後の委託等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について	ある ない その他
(理由) 平成17年度にて事業終了	
改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成17年度の取り組みに対する意見)	
妥当である	意見 次年度以降、適宜時期を逃すことなく施工することが望ましい。
改善の余地あり	
抜本的見直し必要	
改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成17年度の取り組みに対する意見)	
工事の際、安全管理に十分配慮すること。	

《事業の事後評価》

事後評価	主管課	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
		理由		他企業及び道路管理者との協議により工程調整を実施した結果、工期の延伸が余儀なくされた。又、道路拡幅及び掘削制限により一部事業実施できないところがあった。
		成果に対する評価	2	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし
	理由		一部都道拡幅路線に埋設されている石綿セメント管の布設替えが道路拡幅及び掘削制限により実施できなかった。	
	効率性・経済性に対する評価	2	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
	理由		昨年に引き続き、浅層埋設や低コストの第二種改良土の使用により若干の土工のコスト削減を図ることができた。	
	総合評価及び次年度の実施方針			都道拡幅路線に埋設されている石綿セメント管(235m)については、再度、東京都水道局及び道路管理者と協議し、平成18年度以降早期に実施したい。
	審査会	進捗状況評価	2	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
		成果に対する評価	2	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし
		効率性・経済性に対する評価	2	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
総合評価			本事業において一部を除き昭和53年の事業着手後ほぼ完成したことは大きな成果といえる。残った石綿セメント管の布設替えに向けて調整する必要がある。	

事業NO.702	事業名	経年管の解消	(重点管理事業)	水道部
----------	-----	--------	----------	-----

評価対象事業名	経年管の解消			部課名	水道部工務課				
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部第3・3-(1)-	係名	工務係	内線	3436	
計画事業名	経年管の解消			歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	1.水道管理費	
関連計画	水道法・東京都給水条例・同条例施行規則			受託水道会計	事項	3.配水事業費			
事業の目的・概要	<p>目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入 震災時に市民への供給を確保するため、耐震強度の劣る経年管(配水管等)の管種変更を進める。</p>								
目的									
概要	<p>昭和47年までに布設された普通鋳鉄製の配水管などを耐震性及び漏水に強いダクタイル鋳鉄管に布設替えを図る。</p>								
始期	平成17	年度から	終期	平成23	年度まで	当該事務に従事する実職員数	4.0人 または		時間

16年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点

今年度の事業・業務量(活動内容・量の指標)の説明
 計画延長 6,330m

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明
 より効率的な配水管網等の整備で年間計画100%実施を目指し、市民サービスの向上を図る。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)
 東京都水道局のK0(経年管ゼロ)計画
 (破損による漏水事故やにごり水を未然に防止するため、耐震性が低く、古くなった水道管を積極的に取り替える事業)

年度別明細	H15年度	H16年度	H17年度目標	H17年度達成
事業・業務量		経年管延長 52,500m	実施延長 6,330m	実施延長 8,448m
まちづくり指標 行政指標 協働指標		残存率 15.44%	残存率 13.39%	残存率 12.9%
予算額(千円)			775,087	784,387
決算額(千円)				757,160
執行率(%)				96.5%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	←					設計・施工期間							
										設計等次年度準備期間			→
結果	←					設計・施工期間							
										設計等次年度準備期間			→

当初計画変更の内容・理由等(進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載)

事業NO.702	事業名	経年管の解消	(重点管理事業)	水道部
----------	-----	--------	----------	-----

《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向		経年管については、幹線道路等に埋設されているため、道路管理者の工事に左右される場合も多く計画通りの進捗を図ることが難しい。次年度についても引き続き、できるだけ早くからの調整及び工事への理解を求めていく。		
主管課中間評価				
中 間 評 価	コスト面	1	18年度は本年度よりコストが、減少する 維持 増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 交通管理者と協議をし出来るだけ夜間工事を減少させる。	
	成果面	1	18年度は本年度より成果が、増加 維持 減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 水道局と協議し計画より延長を増やす。	
	今後の委託等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について			ある ない その他 (理由)
改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成17年度の取り組みに対する意見)				
評 価	妥当である	意見	道路管理者並びに他部課との連携を取りながら計画的、効率的に取り組むことが望ましい。また、事業終了を踏まえ経年管等の整備に努めることが望ましい。	
	改善の余地あり			
	抜本的見直し必要			
改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成17年度の取り組みに対する意見)				
重点的に取り組む課題とする。				

《事業の事後評価》

主 管 課 事 後 評 価	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている 理由 本市の要望どおり、導水管の布設替えを予定数量以上に実施できることとなった為、実施期間の延長が必要となった。		
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし 理由 導水管の布設替えを予定数量以上に実施することができた。		
	効率性・経済性に対する評価	2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること 理由 浅層埋設及び第二種改良土の使用によりコスト削減を図った。		
	総合評価及び次年度の実施方針				
	今後は導水管を中心に経年管の早期解消を図る。				
	評 価 会 議	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている	
成果に対する評価		1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし		
効率性・経済性に対する評価		2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること		
総合評価			今後も道路管理者等と連携・調整をしながら計画を効率的に推進していくことが望まれる。		

事業NO.703	事業名	深井戸の適正な維持管理	部内管理事業	水道部
----------	-----	-------------	--------	-----

評価対象事業名	深井戸の適正な維持管理			部課名	水道部工務課			
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部第3・1-(1)-	係名	配水係	内線	3441
計画事業名	深井戸の適正な維持管理			歳出科目	款	受託水道事業費	項	建設改良費
関連計画				受託水道会計	事項	1.原浄水施設事業費		
				補助区分	国	都	市単独	

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

三鷹市の水道水の約6割にあたる自己水源である深井戸の安定揚水量を維持するため、市内39箇所の深井戸内の活性化を図るとともに、各々井戸の適正揚水量を確認し、水中ポンプ取替による地下水を主とする水道水の安定供給を図り、過剰揚水による地盤沈下等の環境問題が起こらないようにする。

掘削後30から45年経過し、老朽化した深井戸内スクリーン(集水口)のサビ等による目詰まりを解消するため、各々深井戸の現状に即した工法(ブラッシング、スワッピング、バックウォッシング等)による更生工事で揚水水位の回復を図り、各々井戸の適正揚水量を確認しながら水中ポンプ・モータを選定し順次取り替えを行う。

始期 年度から 終期 23 年度まで 当該事務に従事する実職員数 1.0人 または 時間

16年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点

水源井39本の水中ポンプ取替周期と全水源から選出された水源井の更生工事周期を勘案しながら、効率的かつ効果的な工事の実施を図る。

今年度の事業・業務量(活動内容・量の指標)の説明

- (1) ブラッシング、スワッピング等による更生工事 3箇所
- (2) 更生工事に合わせた水中ポンプ取替工事 3箇所
- (3) 基本周期による水中ポンプ取替工事 1箇所

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明

地下水と都水との現状割合を維持するため更生工により揚水水位を回復し、水中ポンプ取替による安定揚水を図る。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)

年度別明細	H15年度	H16年度	H17年度目標	H17年度達成
事業・業務量	実施水源 上連雀1号水源 三鷹北野2、8号水源、牟礼1、4水源	実施水源 上連雀2号水源 上連雀5号水源 三鷹新川7号水源 牟礼2号水源 牟礼3号水源	計画水源 野崎3号水源 深大寺水源 三鷹北野1号水源 三鷹新川3号水源	実施水源 三鷹北野1号水源 三鷹北野3号水源 三鷹北野6号水源 三鷹新川3号水源
まちづくり指標 行政指標 協働指標	計画水源井5箇所の揚水量維持	計画水源井4箇所の揚水量維持	計画水源井4箇所の揚水量維持	18年度からの水源井掘替えに伴う統廃合計画により、予定水源を変更し、4箇所の揚水量維持
予算額(千円)	35,175	35,669	33,600	33,600
決算額(千円)	24,990	35,669		28,140
執行率(%)	71.0%	100.0%		83.8%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画			← 三鷹新川3号水源 再生工事 →			← 野崎3号水源外1箇所 再生工事 →						
			← 三鷹新川3号水源外1箇所 水中ポンプ取替工事 →			← 野崎3号水源外1箇所 水中ポンプ取替工事 →						
結果			← 三鷹新川3号水源 再生工事 →				← 三鷹北野3号水源外1箇所 再生工事 →					
			← 三鷹新川3号水源外1箇所 水中ポンプ取替工事 →				← 三鷹北野3号水源外1箇所 水中ポンプ取替工事 →					

当初計画変更の内容・理由等(進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載)

18年度からの水源井掘替えに伴う統廃合計画により、予定水源を2箇所変更し実施した。

事業NO.703	事業名	深井戸の適正な維持管理	部内管理事業	水道部
----------	-----	-------------	--------	-----

〈事業の中間評価〉

中間評価時の課題と次年度の改善方向		
経年により老朽化していく井戸ケーシング、スクリーンの維持管理及び適正揚水量による自己水を確保する。 多摩水道改革推進本部における三多摩地区深井戸掘替え実施計画と十分な打合せを行い、導水管取替工事等を含め工務課内で情報の共有を図りながら無駄のない実施計画を検討していきたい。		
主管課中間評価		
中間 評 価	コスト面 1 18年度は本年度よりコストが、減少する 維持 増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 年度ごとに井戸の深さ、ポンプモータ出力容量、及びポンプ据付位置により金額が増減する。	
	成果面 2 18年度は本年度より成果が、増加 維持 減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) さく井後30～45年が経過した水源井であり、揚水量の現状維持が限度である。 今後の委託等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について 2 ある ない その他 (理由) 老朽化した井戸それぞれの特徴を把握した経験が必要。	
	改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成17年度の取り組みに対する意見)	
	改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成17年度の取り組みに対する意見)	
	妥当である 改善の余地あり 抜本的見直し必要	意見 地下水の確保が図れるよう、必要な施設の維持管理及び更生工事を計画的に実施していくことが望ましい。
評価を踏まえ予算化に努める。		

〈事業の事後評価〉

事後 評 価	進捗状況評価 1 当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている 理由 当初の計画どおり水源井3箇所の更生と施工場所は変更したが4箇所の水中ポンプ取替工事が完了した。
	成果に対する評価 1 大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし 理由 自然水位、揚水水位が回復したことで安定揚水が可能になり当初の成果目標を達成することができた。
	効率性・経済性に対する評価 2 高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること 理由 各々水源井に適した材質、能力の水中ポンプ・モータを選定、設置したことで余力ある安定揚水の維持を図ることができた。
	総合評価及び次年度の実施方針
	井戸スクリーンの目詰まりが解消したことで揚水水位も回復し、地下水を主とする水道水の安定供給を目指しているが、さく井後30年以上を経過した井戸には老朽化が目立ち、掘替えによる統廃合で安定揚水維持を図る。
	進捗状況評価 1 当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
成果に対する評価 1 大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし	
効率性・経済性に対する評価 2 高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
安定的な揚水量を維持するため、深井戸の掘替えとも連携しながら効率的・計画的に取り組んでいくことが望まれる。	
総合評価	

事業NO.704	事業名	配水管新設工事	部内管理事業	水道部
----------	-----	---------	--------	-----

評価対象事業名	配水管新設工事			部課名	水道部工務課					
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部第3・1-(3)-	係名	工務係	内線	3436		
計画事業名	配水管網の整備			歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	2.建設改良費	目	2.配水施設費
関連計画	水道法・東京都給水条例・同条例施行規則			受託水道会計	事項	3.配水施設事業費				
				補助区分	国	都	市単独			

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入
市民のために、より効率的な配水管網整備を目的とし、配水管の新設・増径等工事を実施する。

目的

概要
石綿セメント管管種変更及び経年管管種変更工事にあわせ、近接した配水管未布設箇所への布設を進める。また、都市計画等の推捗に合わせ配水管の新設・増径等工事を行う。

始期 単年度 年度から 終期 年度まで 当該事務に従事する実職員数 0.7人 または 時間

16年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点
前年度に引き続き、事業の効率化と市民サービスの向上に向け配水管網の整備を進める。

今年度の事業・業務量(活動内容・量の指標)の説明
計画延長 1,500m

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明
より効率的な配水管網の整備で年間計画100%実施を目指し、市民サービスの向上を図る。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値(コスト比較を含む)

年度別明細	H15年度	H16年度	H17年度目標	H17年度達成
事業・業務量	実施延長 2,537.9m 111.3%	実施延長 3,628.4m 99.1%	計画延長 1,500m	実施延長 2,406m
まちづくり指標 行政指標 協働指標	より効率的な配水管網の整備が図れた。	より効率的な配水管網の整備が図れた。	年度計画の100%実施	より効率的な配水管網の整備が図れた。
予算額(千円)	148,000	229,475	147,995	157,145
決算額(千円)	143,411	177,099		152,779
執行率(%)	96.9%	77.2%		97.2%

年間の実施スケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	←						設計・施工期間						
										設計等次年度準備期間			→
結果	←						設計・施工期間						
										設計等次年度準備期間			→

当初計画変更の内容・理由等(進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載)

事業NO.704	事業名	配水管新設工事	部内管理事業	水道部
----------	-----	---------	--------	-----

《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向	
石綿セメント管や経年管等の布設替工事と連動して実施しているが、道路管理者や地権者の理解を得にくい路線もある。次年度についても早めに道路管理者や地権者と協議し早めに理解を求めていく。	
主管課中間評価	
コスト面	2 18年度は本年度よりコストが、減少する 維持 増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由)
成果面	2 18年度は本年度より成果が、増加 維持 減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由)
今後の委託等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について	ある ない その他 (理由)
改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成17年度の取り組みに対する意見)	
妥当である	意見 道路管理者並びに地権者との綿密な調整を図り、布設替工事に合わせて効率的に実施することが望ましい。
改善の余地あり	
抜本的見直し必要	
改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成17年度の取り組みに対する意見)	
評価を踏まえ予算化に努める。	

《事業の事後評価》

事後評価	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	理由		道路工事等の変更により、施工箇所を変更したため工期の延伸を必要としたが、生活道路での延長を伸ばすことが出来た。
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし
	理由		目標値を大幅に達成することができたが、主要路線の整備が遅れたため、今後の課題としたい。
	効率性・経済性に対する評価	2	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること
	理由		経年管等との同時施工により効率的な整備を図ることができた。また、浅層埋設及び第二種改良土の使用によりコスト削減を図った。
	総合評価及び次年度の実施方針		
	理由		都道等の主要路線の新設の目標値を上げることができなかったが、生活道路での給水管を整理し配水管を布設することができた。今後は、道路管理者と詳細な打合せにより主要路線についても早期に配水管の整備を図りたい。
	進捗状況評価	1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
	成果に対する評価	1	大<目標の指標等を達成> 中・小又はなし
効率性・経済性に対する評価	2	高・中・低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
引き続き経年管布設工事等とともに計画的・効率的な事業実施が望まれる。			
総合評価			

事業NO.705	事業名	上連雀浄水所ろ過設備改良工事	部内管理事業	水道部
----------	-----	----------------	--------	-----

評価対象事業名	上連雀浄水所ろ過設備改良工事			部課名	水道部工務課					
基本計画掲載	あり	なし	体系	第4部第3・1-(3)-	係名	配水係	内線	3441		
計画事業名	上連雀浄水所ろ過設備改良工事			歳出科目	款	1.受託水道事業費	項	2.建設改良費	目	1.原浄水施設費
関連計画				受託水道会計	事項	1.原浄水施設事業費				
				補助区分	国	都	市単独			

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

上連雀浄水所のろ過設備は、昭和46年3月に設置したもので長年の使用による各部の磨耗、並びに絶縁低下による配電盤、ポンプモータ等の故障が発生しているため取水処理設備を更新し、貴重な地下水の安定ろ過処理を図る。

ろ過設備の更新
 (1) ろ水ポンプ盤 3面、ろ水機盤 1面、ろ水機制御盤 1面、計装盤 1面
 (2) 水中ポンプモータ 2台、陸上ポンプモータ 1台
 (3) 電磁流量計 1台
 (4) 電動バルブ 10台 (5) ろ水ポンプ室、混和池改修

始期 17 年度から 終期 17 年度まで 当該事務に従事する実職員数 1.0人 または 時間

16年度事業評価の結果・指摘等を踏まえた、本年度の改善点

今年度の事業・業務量(活動内容・量の指標)の説明

水中ポンプ取替工事、及び水源井更生工事により地下水の安定揚水量を確保し、その地下水の安全、安定処理を目的にろ過設備の全面更新を実施する。

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明

深井戸の適正な維持管理により地下水の安定揚水量を確保し、その地下水を浄水所で安全かつ安定的に処理するためのろ過設備を全面更新することで、地下水を主とする水道水の安定供給を図る。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

年度別明細	H15年度	H16年度	H17年度目標	H17年度達成
事業・業務量			設備更新等 (1) ろ水設備用配電盤 一式 (2) ろ水ポンプモータ 一式 (3) 電磁流量計 一式 (4) 電動バルブ 一式	設備更新等 (1) ろ水設備用配電盤 一式 (2) ろ水ポンプモータ 一式 (3) 電磁流量計 一式 (4) 電動バルブ 一式
まちづくり指標 行政指標 協働指標			ろ過設備を全面更新し、地下水を主とする水道水の安定供給を図る。	ろ過設備を全面更新し、地下水を主とする水道水の安定供給を図る。
予算額(千円)			157,500	157,500
決算額(千円)				97,650
執行率(%)				62.0%

年間の実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画				設計施工期間								
結果				設計施工期間								

当初計画変更の内容・理由等 (進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載)

事業NO.705	事業名	上連雀浄水所ろ過設備改良工事	部内管理事業	水道部
----------	-----	----------------	--------	-----

《事業の中間評価》

中間評価時の課題と次年度の改善方向	
平成17年8月29日入札 工期平成18年3月10日まで	
主管課中間評価	
コスト面	<input type="checkbox"/> 18年度は本年度よりコストが、 減少する 維持 増加する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由)
成果面	<input type="checkbox"/> 18年度は本年度より成果が、 増加 維持 減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由)
今後の委託等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について	<input type="checkbox"/> ある ない その他 (理由)
改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成17年度の取り組みに対する意見)	
妥当である	意見 計画的に事業を進めることが望ましい。
改善の余地あり	
抜本的見直し必要	
改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成17年度の取り組みに対する意見)	

《事業の事後評価》

事後評価	主管課	進捗状況評価	<input type="checkbox"/> 1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
		理由		当初の計画どおり、水中モータポンプ2台、陸上モータポンプ1台、電動仕切弁10台、配電盤6面、電磁流量計1台の取替工事等による設備の更新が完了した。
		成果に対する評価	<input type="checkbox"/> 1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
	理由		揚水地下水の安定ろ過処理、並びに信頼度の高いろ過水の計量が可能になった。	
	効率性・経済性に対する評価	<input type="checkbox"/> 2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
	理由		地下水量の増減に対してもポンプモータの自動制御により、臨機応変な安定ろ過処理を可能にした。	
	総合評価及び次年度の実施方針			
	理由		本工事による三鷹市水道事業開始以来初めての上連雀浄水所関係水源全停止に併せ、昭和34年建設の着水井、昭和46年建設の混和池等の防水塗装、並びにろ水機補修工事も完了し、地下水処理施設の更新が図れた。	
	審査会	進捗状況評価	<input type="checkbox"/> 1	当初計画どおり<計画以上の進捗を含む> 若干遅れている 大きく遅れている
		成果に対する評価	<input type="checkbox"/> 1	大<目標の指標等を達成> 中・ 小又はなし
効率性・経済性に対する評価		<input type="checkbox"/> 2	高・ 中・ 低 コスト削減した場合は、その取り組みを理由に記載すること	
理由			安全で安定的な地下水の処理を維持しながら計画的・効率的な保全整備に取り組んでいく必要がある。	
	総合評価			